※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　（専）美術科

教科	（専）美術	科目	素描	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

造形活動の基本に素描の技術や知識が必要です。技術や知識を学ぶことで、美的感性を磨き造形活動に必要なものの見方や感じ方を獲得しましょう。

2　学習の到達目標

素描の学習を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，専門的な美術に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1）表現材料の特性について理解を深めるとともに，対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する基礎となる技能を身に付けるようにする。
（2）対象のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力，判断力，表現力等を育成する。
（3）造形表現を追求する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	素描の多様な表現方法に関心を持ち、基本的な素描の表現方法を身に付け、更にモチーフに応じた多様な表現方法を身に付けている。	感性をはたらかせ、モチーフを画面にどのように入れるかなどで構成の美しさを考え、創造的に判断し、表現している。	主体的に創造活動に取り組み、新たな気づきや視点を表現に組み入れながら活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	【絵画】 ・鉛筆の削り方や練り消しゴムの使い方 ・グレースケールの作成	a:対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。（知識） b:モチーフの特徴や美しさを感じ取り、創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。（発想や構想） c: 主体的に創造活動に取り組み、新たな気づきや視点を表現に組み入れながら活動に取り組もうとしている。（鑑賞）	制作作品	制作作品	制作作品
	基本形のデッサン	・立方体、円柱、球体のデッサン ・2 点モチーフ① ・2 点モチーフ②	a:対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。（知識） b:モチーフの特徴や美しさを感じ取り、創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。（発想や構想） c: 主体的に創造活動に取り組み、新たな気づきや視点を表現に組み入れながら活動に取り組もうとしている。（鑑賞）	制作作品	制作作品	制作作品
2学期	2点・3点モチーフのデッサン	・2 点モチーフ③ ・3点モチーフ① ・3点モチーフ②	a:対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。（知識） b:モチーフの特徴や美しさを感じ取り、創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。（発想や構想） c: 主体的に創造活動に取り組み、新たな気づきや視点を表現に組み入れながら活動に取り組もうとしている。（鑑賞）	制作作品	制作作品	制作作品

※令和４年度以降入学生用

3学期	3点モチーフのデッサン	・3 点モチーフ③ ・3 点モチーフ④	a:対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。（知識） b:モチーフの特徴や美しさを感じ取り、創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。（発想や構想） c: 主体的に創造活動に取り組み、新たな気づきや視点を表現に組み入れながら活動に取り組もうとしている。（鑑賞）	制作作品	制作作品	制作作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度